

課題管理番号	2025-102
研究課題名	患者由来造血器悪性腫瘍細胞を用いた新規標的分子の proof of concept 確立に関する研究
研究実施期間	2025 年 10 月 9 日から 2026 年 9 月 30 日まで
研究責任者の所属・氏名	研究開発本部 創薬研究部部長 兼 主席研究員 川岸 亜紀
利用する者の範囲	リベロセラ株式会社
情報・試料の種類	<p>情報</p> <p>年齢・性別等の患者背景因子、体重、現病歴、既往歴、臨床検査の情報等</p> <p>試料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治療時に余り、凍結保存していた骨髄、リンパ節または末梢血</li> <li>・通常診療で採取した骨髄、リンパ節又は末梢血の残余検体</li> <li>・他研究で採取し、二次利用に同意をいただいた試料</li> </ul>
研究目的	本研究は、造血器悪性腫瘍における新規標的分子に関し、臨床検体での発現レベル、局在、及び抗体による殺細胞効果を評価することを目的とします。
研究方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 現時点で研究対象の方から既に採取されて保存されている、あるいは今後採取され保存される骨髄、リンパ節又は血液を用い、急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など複数のがん種に対して横断的解析研究を行います。</li> <li>2) 標的分子の発現が見られたがん種に対してはさらに症例数を増やし、陽性頻度の解析を行います。</li> <li>3) 寛解後血液細胞や正常細胞を用いて発現解析を同様に行い、がん細胞と正常細胞との発現差異から毒性リスクを検証します。</li> </ol>
研究代表者による情報公開アドレス	<a href="https://ncc.bvits.com/rinri/publish_document.aspx?ID=43114">https://ncc.bvits.com/rinri/publish_document.aspx?ID=43114</a>